


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校 章		都立水元特別支援学校		知的障害	通学区域	葛飾区全域、足立区一部		
		安全・安心な学びの場				進路実績	都立葛飾特別支援学校への進学、29年度は就業技術科に1名進学	
基	所在地	〒125-0031 葛飾区水元一丁目23番3号	電話番号	03-3600-1871	本 情 報	教 育 課 程 の 特 徴	①	基礎基本の充実と人権尊重を重視した教育活動を実施する。
	アクセス	(1) 金町駅北口より京成バス「水元総合スポーツセンター」下車1分 (2) (3)		②			アセスメントに基づいた個別指導計画を作成し、計画・評価・改善する。	
設置学部	小学部 中学部		③	各学部に自閉症学級を設置し、障害の特性に応じた指導を展開する。				
幼児・児童生徒数	241名(小学部181名、中学部60名)		④	小中学校への支援や関係機関との連携を図り、地域のセンター的役割を果たす。				
学級数	51学級(小学部38学級、中学部13学級)		⑤	就学前の障害のある幼児や保護者に対する相談機能を果たす。				
報	スクールバス	7台(大型6台、小型1台)		副籍実施状況	40.9%(直接交流66%、間接交流34%)【30年度実績】			
	その他	現在、校舎建設中(葛飾区水元一丁目23番3号は仮校舎) 特別支援教育センター校(支援エリア:葛飾区)		学校評価	・回答率(保護者79.5%、教員100%) ・保護者満足度平均86.0%			
				ホームページ	http://www.mizumoto-sh.metro.tokyo.jp/			

目指す学校 児童・生徒の自己実現と社会参加・自立にむけた基礎となる力を育成する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	計画的・組織的な授業改善を図る ・研究授業と授業研究協議会による授業改善の充実 ・指導教諭を活用した若手教員の授業力向上 ・外部専門家の活用による教員の教材作成に関する専門性の向上	一人1回の研究授業については、本校への異動者が積極的に研究授業を実施したことで、全教職員が研究授業に対する意識が高まった。その結果、今年度はほぼ全員が研究授業を行った。指導教諭の活用については、指導教諭の所属校の校長の理解が得られず、派遣してもらえなかったため、研修センターの指導主事に3年次研修対象者の研究授業で指導をお願いした。対象者3人とも指導を受けることができた。若手教員の授業研究協議会は、各人1回ずつでき、授業力を高めることに寄与できている。授業力向上のための研究授業については、回数ではなく内容の深化が求められる。	
目 標 ②	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた教育の推進 ・オリンピック・パラリンピック教育をととした日本の伝統・文化理解の推進 ・世界ともだちプロジェクトで応援する国について、理解を深める ・教職員を活用した国際理解の推進	オリンピック・パラリンピック教育も2020東京大会の前年度ということもあり、今年度も多く取り組めた。また、レガシーづくりということでポニー学習や相撲教室を本校のレガシーとして位置づけることとした。今年度も海外派遣から帰国した教員を活用し、ドミニカ共和国について中学部の生徒が学習した。視覚的な資料を活用することで、国際理解を推進することができた。また、給食での各国の郷土料理の提供やともだちプロジェクトで応援する国の掲示を計画的に変えることで、その国の文化理解などを推進することができた。	
目 標 ③	健康で安心・安全な学校づくり ・児童・生徒の食べる力を高めるための食育の充実 ・児童・生徒の事故を未然に防ぐための事故防止マニュアルに基づく指導の徹底 ・一人通学に向けた指導計画書に基づく一人通学の推進 ・教員の救急救命講習受講の推進	○食育については、栄養士が各学年で指導にあたった。給食で使う食材の皮むきなど体験的な活動を入れることで、食材に対する苦手意識が軽減する児童も見受けられた。来年度も引き続き、栄養士による食育の授業を実施する。 ○事故対策については、インシデントを集約し、定期的に情報共有することで、けがなどが減ってきた。来年度も事故防止マニュアルに基づく指導の継続に取り組む。 ○救急救命講習は校内で、講習を実施した。その結果、90%を超える教職員が受講済みとなった。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	指導教諭の模範授業の参観者数					5名	4名	6名	6名			
目標②	世界ともだちプロジェクトで応援する国の料理を給食で提供					3回	3回	4回	3回			
目標③	救急救命講習(普通及び上級)受講率					60%	61%	65%	92.4%			